受講番号　　　　　受講者氏名：

施設・事業所名：　　　　　　　　　　　　　 職名：

Ⅰは認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援の科目で記入します。

**Ⅰ．「認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援」自己課題の設定**

　これまでの自分自身のケアを振り返ってみましょう。

　認知症介護実践者研修での自分自身の課題を考えてみましょう。

**Ⅱ．前期研修の科目のレビューと学習成果の実践展開**

１．「生活支援のためのケアの演習１」のレビューと実践展開の記録・感想

A欄は授業後に記入し、

B欄は職場に戻っているときに記入します。

|  |  |
| --- | --- |
| 「生活支援のためのケアの演習１」を受講して学んだこと・実践してみたいこと | 学んだことを活かして実践した場面・実践した感想 |
| 「生活支援のためのケアの演習１」で学んだことと認知症の人とコミュニケーションを行う上で実践してみたいことを書いてみましょう。 | Aに記入した「実践してみたいこと」を職場で実践した場面を思い出して、自分や相手の言葉、表情、反応等コミュニケーションの内容を書いてみましょう。また、実践した感想を書いてみましょう。 |
| A | B |

受講番号

A欄は授業後に記入し、

B欄は職場に戻っているときに記入します。

受講者氏名：

２．科目ごとのレビューと実践展開の記録・感想

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科目名 | 受講して学んだこと・実践してみたいこと | 学んだことを活かして実践した場面・実践した感想 |
| 科目ごとに、学んだことと実践してみたいことを書いてみましょう。 | Aに記入した「実践してみたいこと」を職場で実践した場面を思い出して具体的に書きだしてみましょう。また、実践した感想を書いてみましょう。 |
| QOLを高める活動と評価の観点 | A | B |
| 家族介護者の理解と支援方法 | A | B |

受講番号　　　　　　受講者氏名：

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 権利擁護の視点に基づく支援 | A | B |
| 地域資源の理解とケアへの活用 | A | B |

職場実習で取り組むことが難しいものは、欄外に記録しておき、修了後に取り組んでみましょう。

３．職場実習で取り組みたい事例

　職場実習で取り組んでみたい事例を２つ挙げてみましょう。

* Xさんの事例

→取り組んでみたい理由：

* Yさんの事例

→取り組んでみたい理由：

受講番号　　　　　　受講者氏名：

４．3の事例を活かして【本人の思いを探る】

STEP2「学習成果の実践展開期間」において、３の事例で挙げたXさん・Yさんについて、

❶本人が今困っていること、❷近い将来本人はどうなりたいのか（目指すべき本人の姿）に

ついて、この期間中に本人とコミュニケーションを図ったうえで、本人の立場になって考え

書いてみましょう。

※本人が言ったことや行動などから「もしかしたら～で困っているのではないか」と推察する。

※「帰りたい」はよくある欲求であるが、「なぜ帰りたいのか？」も考え記述すること。

※あくまでも主語はXさん・Yさんであり、私たちが主語にならないように！（「私たちが困っている、こうして欲しい」はNG！）

* Xさん

|  |
| --- |
| 目指すべき本人の姿 |
| 今困っていること |

* Yさん

|  |
| --- |
| 目指すべき本人の姿 |
| 今困っていること |

受講番号

受講者氏名：

Ⅲは学習成果の実践展開と共有の科目で記入します。

他の受講生と共有前に、再構築して気付いたことを記入しましょう。

**Ⅲ．後期研修「学習成果の実践展開と共有」**

１．記録と感想を書いてみて、今改めて気付いたことや疑問点

２．印象に残った他の受講生の発言と気付いたこと

このワークシートは、認知症介護研究・研修センターが制作したものを一部改編したものです。